

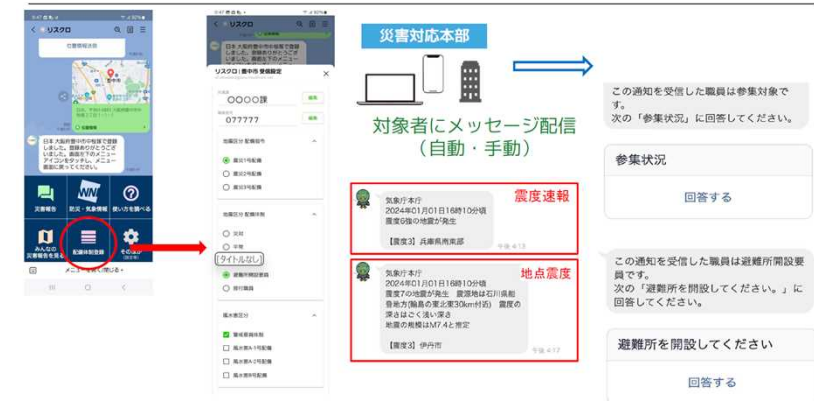
各市町村の防災・減災に関する取組紹介について

取組内容 地震時の職員参集を促すツールとして導入。風水害時にも災害報告を上げることができる。

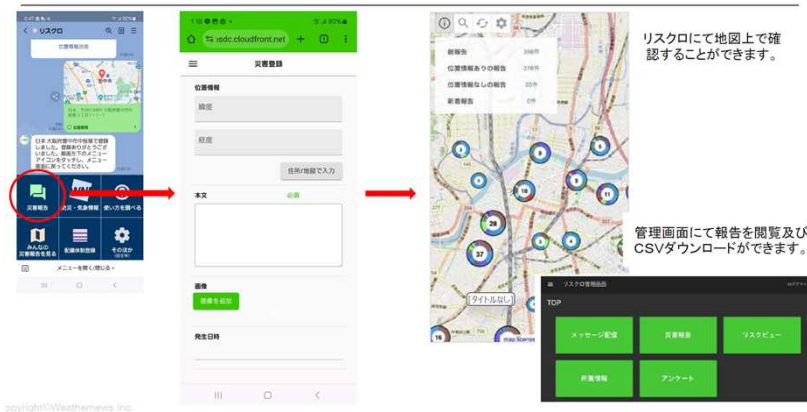
情報登録・職員参集機能



情報登録・職員参集機能



災害情報の登録



ラインを活用して、災害時の職員参集や災害報告を行うもの。
風水害時にも、災害報告を上げることができるので、市内の状況がすぐにわかる。

取組内容 避難行動要支援者に係る個別避難計画を促進するための検討会議開催

令和5年度

- 池田市において、個別避難計画は危機管理課が主管になっているが、更に他部局と連携し作成を進めていくため、「避難行動要支援者に係る個別避難計画を促進するための検討会」を開催するため準備開始。
- 会議設置要綱の検討

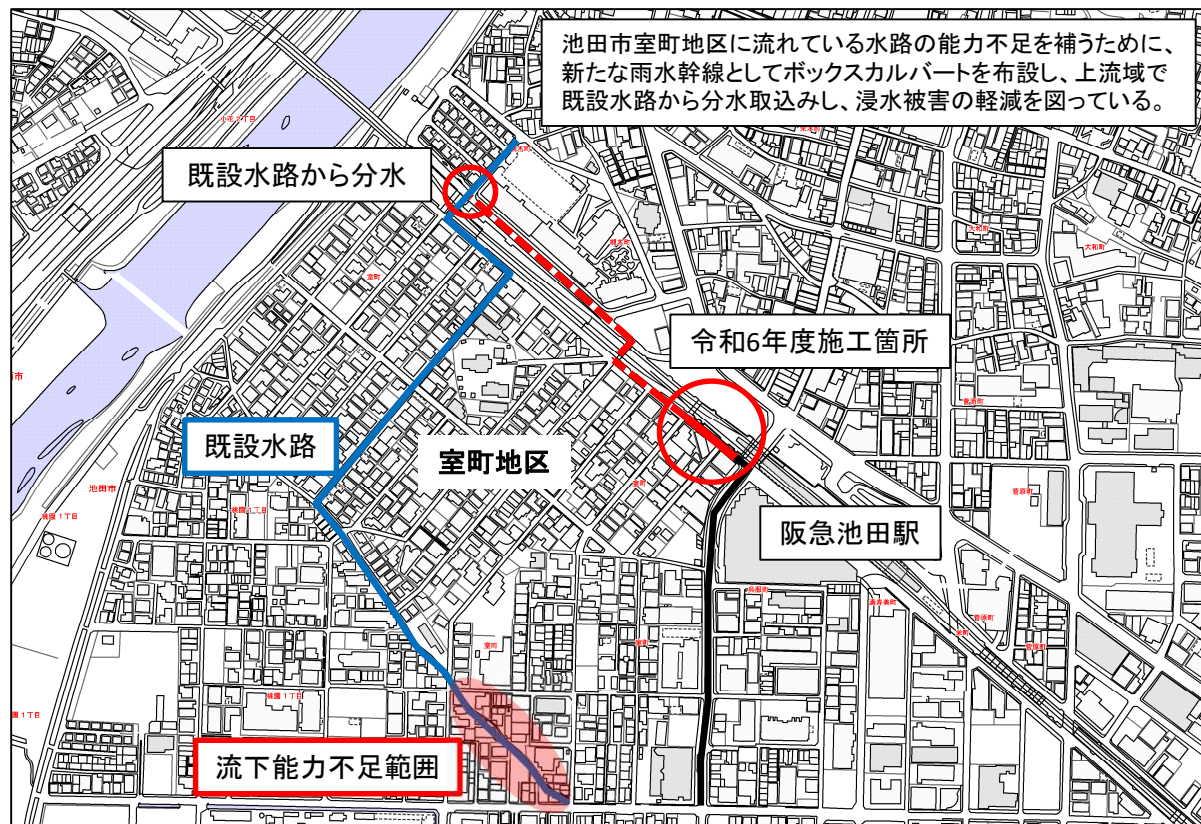
令和6年度

- 避難行動要支援者に係る個別避難計画を促進するための検討会開催
 - 他市モデル事業・内閣府資料を検討会で紹介
 - 検討会開催し、個別避難計画優先作成対象者の要件を検討
 - 個別避難計画優先作成対象者抽出開始

令和7年度

- 検討会開催により、他部局と連携し抽出された優先作成対象者の個別避難計画作成に向けて検討

取組内容 浸水対策の一環として、下水道事業計画（10年確率）に基づき雨水整備を実施している



令和6年度施工写真



取組内容 令和6年度箕面市防災士養成講座を開催

◆開催の経緯

箕面市では令和元年度より、隔年で防災士養成講座を開催しています。箕面市の防災士養成講座は、市職員の室長級・各対策部員・地区防災スタッフ、地域住民からは地区防災委員会の役員を対象に開催しています。

◆現在の箕面市内の防災士の人数

令和6年度は61名が新たに防災士の資格を取得しました。現在、箕面市の防災士養成講座により353人の方が防災士の資格を取得し、箕面市の防災業務に従事しています。



取組内容 令和6年度箕面市防災士養成講座を開催

◆授業内容

箕面市の危機管理職員・消防職員や、外部の防災関係機関の職員様や大学教授にも講師を依頼し、計2日間で9項目の講義を開催しました。座学だけではなく、シミュレーション型訓練の「避難所運営ゲーム(HUG訓練)」を実施しました。HUG訓練とは、避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるのか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを疑似体験するゲームです。市職員・地域の方々とグループを作り、HUG訓練を通じて避難所運営の難しさを体験しました。



取組内容 避難所受付・開設・応急救護に関する訓練及び気象庁講話を実施

今年度は、避難所受付・運営に関する訓練及び座学等を光風台小学校において実施しました。

指定避難所は、町域に南海トラフ等の大規模な地震が発生し、多くの避難者が予想される場合に開設しますが、その円滑な運営には、町職員だけでなく、自主防災組織等の地域の方々の多大なご協力が必要不可欠になります。そこで、今回の訓練のように地域住民の方々と町職員が協働して実施しました。

○日 時

令和6年11月24日

○場 所

豊能町光風台小学校

○実施内容

- ・避難所受付・運営
- ・応急救護（箕面消防豊能署）
- ・防災に役立つ気象情報（大阪管区気象台）
- ・災害時の炊き出し（自衛隊）

○参加者約50名



取組内容 自治会長に対するコミュニティタイムライン作成要領の説明

自治会長（14名）に対してコミュニティタイムラインとは等で重要性を解説したのち、コミュニティタイムラインの作成要領の説明を実施しました

○日 時

令和7年2月28日

○場 所

豊能町役場2階会議室

○協力・支援（2名）

大阪府池田土木事務所地域支援・防災グループ

コミュニティタイムラインの作成について

令和7年2月28日

大阪府池田土木事務所
地域支援・防災グループ

1

■コミュニティタイムラインとは

- ・小学校区や自治会などの区域を対象とし
住民や自主防災組織などの防災行動を記載したもの

- ・ **市町村** と **地域や住民** が一緒に作成する

コミュニティ（地域の）タイムラインのイメージ

いつ	情報	誰が	
		個人	地域（自治会）
台風最接近の 2～3日前	気象情報	事前にハザードマップを確認 非常持出袋の確認	地域連絡網の準備 安否確認方法の確認
台風最接近の 1日前	気象情報	鉄道、バスなどの運行情報確認 非常持出袋を玄関に準備	要配慮者へ声掛け
台風最接近の 数時間前	避難勧告 避難指示（緊急）	指定緊急避難場所へ避難開始	指定緊急避難場所へ避難開始 要配慮者の見回り・支援の開始
台風最接近		避難が完了	地域全員の無事を確認

取組内容 地域防災力の強化のための取組を実施

本町は約100km²の町域に44の自治区が点在しており、災害時の備えとして地域の防災力を強化することが大変重要となることから、昨年度に引き続き、本年度においても自主防災組織の充実・拡大を目的として防災研修会を開催した。

【取組内容等】

- 参加地区数 14地区（18人）
- 内 容
 - （1）講演会「地震に備えて」（講師：豊能町危機管理専門官）



（2）災害対応実技指導（講師：豊中市北消防署能勢町分署）

①防災資機材の使い方



②毛布担架の作成・搬送方法



③ジャッキを使った救助方法

